

【第2分科会】福山市立東朋中学校

『読書環境づくりと読書活動を活性化させる学校教育活動の推進

～「本」が身近にある東朋中～』

提案者 福山市立東朋中学校 田中 之陽

I はじめに

本校は、福山市東部に位置する生徒数 435 名、学級数 15（特別支援学級 4 学級を含む）の中規模校である。本校は、学校生活の中に本がある環境づくりを、司書教諭や学校図書館補助員（週 2 回）を中心に、学校教育内容と連動させながら充実を図っている。生徒が自己の生活の中に本を位置付けるために、そして学校生活の中で教師も生徒も本を中心に語れる環境づくりを推進することが、生徒の読書活動を活性化させるのではないかと考え、全職員で取り組んだ。「環境づくり」「授業との連携」「主体的な委員会活動の運営」を柱に取り組んだ内容を報告する。

II 取組の概要

（1）読書環境づくり

- ・オープン図書館（貸出 PC）
- ・朝読 in 図書館
- ・教師による本紹介

（2）読書活動を活性化させる学校教育活動

①各授業・総合的な学習の時間との連携

- ・学校図書館補助員による授業
- ・平和学習
- ・高齢者体験
- ・POP 作り（書店とのコラボ）
- ・世界バラ会議

②主体的な委員会活動の運営

- ・昇降口オープン図書館

III 協議したい内容

- ・学校教育活動に位置付ける学校図書館の在り方

IV 成果・課題

- ・学校図書館委員会による密なる連携により、学校図書館補助員を大いに活用することで、学校図書館を通して、学校全体の教育活動の充実を図れた。
- ・オープン図書館を設置することで、生徒と教師の交流の場、不登校生徒等の読書活動の支援、本をきっかけに築く人間関係等、生徒にとって憩いの場の一つになっている。
- ・読書活動をどう生涯活動につなげていくか課題である。

V 終わりに

生徒の学校生活の中で、身近に本がある環境づくり、生徒も先生も本について語る環境づくりを通して、生涯にわたる読書習慣の定着と、生徒の思考の深化を支援する図書館運営の取組を、今後も図書館補助員を活用し進めていきたい。